

令和4年度 岩手県立盛岡商業学校 学校評価報告書

校長：高橋克壽

総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での学校運営であったが、各種学校行事や校外学習など、様々な工夫により概ね実施できたことは、生徒にとって有意義であった。 ・本校に入学して良かったと回答した生徒が【88%】、本校に入学させて良かったと回答した保護者が【95%】と高評価を得ていることから、本校の教育活動に理解を示していると考えられる。
--------	---

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
1 学習指導の充実 基礎基本の定着と主体的な姿勢を育成する。	・主体的かつ対話的に授業に取り組んでいる【85%以上】	・主体的かつ対話的に授業に取り組んでいる生徒の割合<達成【88%】> ・主体的な学習態度を育てるため、アクティブ・ラーニング、実践学習等に取り組んでいる教員の割合<達成【91%】>	○	・生徒と教員の達成率が近いのは好ましい結果だと思う。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を今後も意識して欲しい。	・授業へのICTの効果的な活用や、教科横断した教員グループによる互見授業をとおして、授業改善に努める。
2 生活指導の充実 社会人基礎力を身につけさせるとともに、「いじめ」を未然に防止する環境をつくる。	・いじめなどの早期発見、適切に対応している【85%以上】	・いじめや問題行動の早期発見に努め、適切な対応をしていると感じている生徒の割合<達成【87%】>	○	・いじめ等の未然防止や早期対応に対して高い評価となっているが、今後も引き続き取り組んでほしい。	・毎月のいじめ防止対策委員会と年4回のいじめアンケートの実施を基本とし、早期発見・早期対応に努める。 ・生徒に寄り添った対応の充実に向けて、SC 面談と教育相談担当による面談を効果的に連携させる。
3 キャリア教育の充実 人生設計力の育成をおして、主体的に進路実現に取り組ませる。	・進学・就職希望者に対して、適切な指導をしている【90%以上】	・進学・就職希望者に対して、それぞれ適切な指導をしていると感じている生徒の割合<達成【90%】> ・進学・就職希望者に対して、それぞれ適切な指導をしていると感じている保護者の割合<未達成【89%】>	×	・保護者の評価が僅かに未達成であるが、否定的な意見が殆どないため、達成していると捉えてよいと思う。 ・フィールドワーク等、校外学習の機会は、社会で生きていく力の育成になっていると思う。	・保護者に対して、生徒の進路への取り組み状況や経過、授業実践等の情報を積極的に発信する。 ・1・2年生や保護者に向け、タイムリーな進路情報を提供する。
4 開かれた学校づくりの推進 保護者・地域との連携を推進する。	・保護者との連携や情報発信が適切に行われている【90%以上】	・保護者等との連絡やHP、新聞(便り)、「楽メ」等情報発信が適切に行われていると感じている保護者の割合<達成【92%】>	○	・情報発信が適切に行われ、保護者との連携が取れていると感じている。	・HP、学校通信、学校メール「楽メ」等による情報発信に引き続き努める。
5 働き方改革の推進 働き方改革の推進とやりがいのある職場環境を作る。	・本校は働き方改革に取り組んでいる【85%以上】	・本校は働き方改革に取り組んでいると感じている教員の割合<未達成【82%】>	×	・業務の見直しを引き続き進めてもらいたい。 ・先生方のやりがいのある職場という視点も大切にもらいたい。	・分掌、学年、部活動等の連携を強化し、業務の平準化に努める。 ・朝会の実施方法見直し、欠席連絡のICT化等の見直しを図る。